

平成 26 年度 第 4 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 26 年 8 月 20 日 午後 4 時 00 分から

場所 宍粟市役所 503 会議室

## 第4回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成26年8月20日（水） 午後4時00分 ～ 午後5時26分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所503会議室

### 2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

杉本健三	委員長	金本一二	委員
弓削ルリコ	委員	田中真人	委員
西岡章寿	委員(教育長)		

事務局

岡崎悦也	教育部長	楳谷米男	教育部次長
澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課長
田村純司	こども未来課長	田路正幸	社会教育課長
清水敬司	山崎給食センター所長	橋本 徹	教育総務課副課長
中尾善弘	こども未来課副課長		

### 3 開会

杉本委員長が開会した。

### 4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、杉本委員長が会議の成立を宣言した。

### 5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、杉本委員長の指名により、次のとおり決定された。

田中委員

### 6 前回会議録の承認

第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、教育総務課 澤田課長が説明し、承認された。

### 7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

学校規模適正化・幼保一元化等推進状況について

一宮南中学校区(学校規模適正化)で染河内小学校区保護者の意向集約について協議中である。

一宮北中学校区（学校規模適正化）で、実施場所について、保護者代表協議を経て、正副会長会で一宮北中敷地内での併設案並びに小中一貫教育等について協議をすすめている。千種中学校区（幼保一元化）造成工事は、順調に進み今月中の完了予定。8月末に認定こども園・図書館建設工事の入札を行い、9月から工事を進める予定である。一宮南中学校区・一宮北中学校区（幼保一元化）は、8月27日センターいちのみや、8月29日センター三方で、就学前の保護者並びに地域住民へ幼保一元化推進計画について説明・意見交換会を開催の予定である。

#### 通学路の安全確保の取組みについて

平成24年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生し、通学路の緊急合同点検を実施した。その取組を継続的なものにするため、国交省や警察署、宍粟市などの関係機関が連携し「通学路交通安全推進協議会」を設置し、合同点検を行いながら通学路の安全性向上を図ることとした。8月21日から8月28日にかけて各中学校区をブロックごとに点検を行う予定である。

#### その他の事業について

##### （1）中体連の結果

【近畿大会】山崎西中（野球部ベスト8[県大会準優勝]）、一宮南中（相撲5人制準優勝[県大会準優勝]）、一宮北中（相撲5人制ベスト8[県大会優勝]）、一宮北中（ソフト部 ベスト8[県大会準優勝]）、山崎西中（水泳 男子400mリレー等3種目で出場）

##### （2）1学期「いじめアンケート調査」

26年度小学校1件、中学校7件（25年度小6件、中14件）で、前年度より数的には少なくなった。いずれも解消されているが、引き続き指導見守りを続ける。

##### （3）スクイム市派遣団

受入れ先の都合で昨年度より生徒が3名少ないが、引率3名、生徒10名 計13名で、9月18日（木）～9月26日（金）にかけて、スクイム市へ訪問する  
以上、報告とする。

## 8 議事

議事に入る前に、第7号議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、地方公共団体の長が議会の議決を経るべき事件の議案作成において教育委員会の意見を聞くもので、議会提案前の内容となっており、地方公共団体の意思形成課程、意思形成の中立性の観点から非公開にしたいと委員長が説明し、審議の結果、全員「異議なし」とし、第7号議案は協議報告事項終了後の非公開審議が決定された。

#### 第5議案 平成27年度使用学校教科用図書採択について

教育委員会が管理しなければならない事務として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号に教科書の取り扱いに関することが規定されている。また、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第12条により教科用図書採択地区を設けて共同採択を行うとされており、この度、西播磨教科用図書採択地区協議会より答申があったことから、市町教育委員会としての採択を行おうとするものであり、また、学校教育法附則第9条の規定による特別支援学級における教科用図書（一般図書）についてもあわせて採択をしようとするものであることを、澤田

教育総務課長、志水学校教育課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

#### **第6議案 宍粟市教育委員会教育機関の一部機関に関する指定管理者候補者の選定について**

宍粟市教育委員会教育機関の一部機関（山崎文化会館、たたらの里学習館、スポニックパーク一宮、一宮ウッディパークキャンプ場）に関する指定管理者期間が、平成27年3月31日をもって満了となるため、次期指定管理者の候補者を選定する必要がある、指定管理者に指定する候補者、指定予定期間について、澤田教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

### **9 報告事項**

#### **(1) 学校規模適正化・幼保一元化等推進の状況について**

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

#### **(2) 子ども子育て支援制度施行に伴う各種事業等の基準策定に関する意見募集の結果と条例制定について**

資料2「パブリックコメント実施結果」と今後、3基準を条例で定める予定であることをこども未来課 田村課長が報告した。

#### **(3) 宍粟市学童保育所要綱の一部改正について**

資料3「宍粟市学童保育所要綱の一部を改正する要綱」により、こども未来課 田村課長が報告した。

#### **(4) いじめ防止基本方針策定に伴う意見募集について**

資料4「宍粟市いじめ防止基本方針策定に係る意見（パブリックコメント）の募集について（案）」により、学校教育課 志水課長が報告した。

#### **(5) 1学期「いじめアンケート調査」の結果について**

資料5「平成26年度 1学期「いじめアンケート調査」に係る報告」により、学校教育課 志水課長が報告した。

#### **(6) 家原遺跡公園復元住居改修工事の完了について**

資料6「家原遺跡公園復元住居改修工事の完了について」により、社会教育課 田路課長が報告した。

#### **(7) その他について**

資料7「平成26年度7・8月期～ 宍粟市ALT配置校名簿（新規・継続）」資料8「宍粟市通学路交通安全プログラム（案）」により教育総務課 澤田課長が報告した。

## 委員の主な意見及び事務局の説明

(金本委員)

平成 27 年度使用学校教科用図書採択について、前回採択と 3 教科において教科書が違くと説明があったが、どの教科が違うのか。またどの部分がちがうのか。

(弓削委員)

教科書展を開催しているが、その参加度合いはどうか。

(委員長)

地区採択協議会とりわけ調査委員会で審議され教科書が選定されているが、宍粟の現場の先生の意見はどう反映されるのか。宍粟市から代表の調査委員がいることもあり、宍粟市の教科ごとの部会等での意見が、地区採択協議会に反映されるようなシステム構築を願いたい。

(学校教育課長)

社会の地図帳が帝国書院から東京書籍へ、音楽が東京書籍から教育芸術社へ、技術・家庭（家庭部門）が開隆堂から東京書籍へ変わった。採択ポイントは、子どもたちにとって分かりやすい、見やすい、興味関心を引く、使いやすいという観点で、調査委員会で協議いただいた。具体的には、東京書籍の地図帳はA4 判サイズと大きく、近畿地方、西播磨地域が大きく掲載、修学旅行先となる京都、奈良、東京などの拡大図があり他社より情報量が多いこと、文字のポイントが大きいなど特別支援教育への配慮があったことである。音楽の教育芸術社は、低学年では、わらべ歌・あそび歌が多く掲載され、手遊びなどで体を動かす日本の伝統的な歌にふれることができる。高学年では、雅楽、特に琴、尺八なども含め、歌唱から器楽も含めて伝統楽器の奏法を含めて豊富な写真を使い、日本伝統楽器の良さや楽しさが学習できるもの、また、兵庫県ゆかりの「赤とんぼ」の掲載など、より身近な楽曲が掲載されている。技術・家庭の東京書籍は、児童イラストをふんだんに使い、視覚的に分かりやすいものである。また、キャリア教育や伝統文化、防災、環境など、本質的課題が分かりやすく他教科との関連にも配慮があり安全・衛生の項目があるなど充実している。以上の理由で、前回採択とは違う教科書が選定された。

教科書展は市役所 4 階フロアにて 10 日間開催し、70 名を越す閲覧があった。昨年度開催場所の市立図書館 2 階よりも展示会利用者人数が増え、場所を変えて開催して良かったと思っている。

教科書選定は、小学校、中学校ともに校長先生を中心に各教科の教科部会を開催するなかで、選定に至る視点等、会議内容を提供しており、今後も現場の先生との情報共有に努めていく。

(金本委員)

たたらの里学習館の年間入館者について、たたらの里入館者とも関連ある千種高原ゆり園では、今年度風害もあり入園者に影響があったと聞かすが、たたらの里入館者は昨年度に比べてどうか。

(社会教育課長)

たたらの里の入館者数は、手元資料なく後で報告する。

(教育部長)

ゆり園の入園者数は、昨年度 41,015 人、今年度は 21,771 人である。ゆり園は 2 年目となり、ゆりの花自体に問題があったのか病気がついたとも聞いている。開花状況が昨年度より良くないこともあり、ゆり園の入園料金は下げていたようだが入園者数は減数となった。

(委員長)

次回委員会で、たたらの里入館者数は報告願う。

(金本委員)

学校規模適正化について、保護者の意見がまとまりにくいと報告もあったが、少人数学級について、1学年何人になると学級運営がしにくいということはあるか。私の地元の小学校では、1学年が3人、4人となった時、もう少し多い人数のなか勉強してもらいたいという保護者意見もあり、統合が進めやすい面もあった。生徒数的には、一番難しい段階にきているのか。生徒数の状況が変わればもう少し進めやすいかもしれないがどうか。

(学校教育課長)

規模適正化のねらいとして、複式学級の解消がその目的にある。連続する2学年で合計14人までであれば、複式学級にすることになっている。ただし、1年生は細かい支援が必要のため、基準人数が8人となっている。今年度児童数は複式学級になる要件を備えているが、来年度は生徒数が増え複式が解消される学校もあり、年度によって状況は変わってくる。

(教育部長)

規模適正化は複式学級の解消がその目的のひとつではあるが、事務局としては、1学級何人以下だから、適性化を進めたいという明示はしていない。複式の解消を目的としながらも、めざすところは1学年で20人から25人という集団数で、地域へも一緒に考えてほしいという投げかけを行いながら、規模適正化に向け合意形成をはかっていきたい。染河内では、地域の委員会のレベルでは規模適正化の方向性は確認いただいているが、一部に地域を愛する思いが強くなることや、年数が経過し保護者交代もあることで情報の伝達に不備不足があったと考えられ、もう少し説明がほしいという状況であるため、それに向けた努力をしている。

(委員長)

子ども子育て支援制度について、パブリックコメントにより意見を求めたが、寄せられた意見は無く少し残念であった。公募の有りようについて、事務局で何か意見があったら示してほしい。

(教育部長)

一番の対象である就学前の保護者への周知の方法がもう少しあったかもしれないと考えている。今後、いじめ防止方針に対するパブコメも実施したいと思っはいるが、学校を通じて情報提供するなかで周知をすすめたいと思っている。市ではパブコメの周知方法を定めてはいるが、さらなる努力が必要であると感じている。

(弓削委員)

いじめ防止基本方針の策定において、子どもたちへの教育、親や保護者への教育、どちらにポイントをおいているのか。

(田中委員)

いじめ防止基本方針の実施期間をいつまでとされるのか。時代の流れも激しく、学校規模適正化、幼保一元化も進んでいくなか、新たな課題も生じてくると思われるが、どう対応されるのか。

(学校教育課長)

いじめ防止基本方針は、市民全員でいじめを無くしていこうということを基本方針としており、

子ども、親や保護者のどちらかにポイントをおいてということではなく、保護者、学校、行政のそれぞれに役割があり、また方針には記載ないが子どもの役割というの、必要なのではと考えている。

いじめ防止基本方針の期間としては、今後、宍粟市いじめ問題対策連絡協議会（仮称）を条例を制定して設置する予定もあり、協議会の中で宍粟市全体の取組を検証しつつ、法律等の改正にも対応した見直しもできればと考えている。

（弓削委員）

命の大切さを訴えることも大事だが、命のはかなさを伝えていくことも大事でないか。例えば、心の奥底にある魂に訴える講演とか。人間誰もがその命に限りがあるからこそ、命のはかなさを教えることも重要でないか。東日本大震災にしても、九州の小学生児童の事件についても、はかなさを通じてこそ伝えられることがあるのでないか。

（委員長）

命がはかないからこそ、命が大切であるということで、いじめ問題をはじめ人権全般にわたり取り組んでいただきたい。

（教育部長）

命のはかなさについて、あらゆる機会を通じて、子どもたちにその重要性を伝えることで、自尊、他尊を含め、人を大事にするという人間形成につなげていきたい。

（金本委員）

いじめ問題対策連絡協議会の委員構成に、地域の状況にも明るい民生児童委員、主任児童委員の参画について検討を願いたい

（委員長）

民生児童委員、主任児童委員の委員への登用を具体的に検討いただきたい。

（学校教育課長）

いじめ防止基本方針の地域社会の果たすべき役割として、学校・家庭と関係団体等の連携推進をはかることとしており、民生児童委員、主任児童委員との連携を深めていきたい。また、協議会委員としての参画については検討したい。

（委員長）

「いじめアンケート調査」の報告者数は、前年度比較で小中ともに減少しているが、報告件数が増えることはアンケートに答える教員の意識が高いという側面も考えられる。報告件数が減ることは喜ばしいことだが、いじめという視点が鈍っているかもしれないということを考えながら、学校現場への指導、啓発に当たってもらいたい。

## 10 次回会議の招集について

平成26年9月24日（水）午前9時30分から、第5回宍粟市教育委員会を開催すると決定した。

## 11 閉会

金本委員が閉会した。

以上